



## 前文

2017年2月13日と14日の両日、世界26の港湾から100人を越える参加者を迎え、「神戸開港150年記念神戸国際港湾会議」を神戸市において開催した。この国際会議に参加した各港湾同士で、グローバル化社会における港の未来像を構想し、その実現に向けて共に協力し合うためのプラットフォームを構築することができた。

二日間の会議を通じて、参加した各港湾の代表者である我々は、これからの港湾と都市の発展に必要な数多くの知識や経験を共有した。この共同宣言は、これらの会議の成果をもとに、ここに集結した各港湾管理者がともに力を合わせて、今後も各港湾が社会と経済の調和ある発展に寄与するために、未来志向の努力を続ける決意を示すものである。

## 過去から未来へ

我々は、港湾が、世界につながる玄関口として、国家レベルと国際レベルで貿易を推進し、経済発展に繋げていくために重要な役割を果たす主体であると確信している。

我々は、これからも、変化し続ける都市経済にさらなる活力を与えるとともに、都市と港湾の空間および機能をより高度化することにより、強靱かつ環境に優しくスマートな都市の創造に貢献し、すべての人々がよりよい生活を享受できるような社会を実現したいと願っている。

## 活力があふれる物流・人流を目指して

基幹航路とフィーダー航路への積み替えを行う港湾と、各国、各地域の物流の窓口となる港湾があり、いずれの港湾も生活必要物資やエネルギーの供給基地として重要な役割を果たしている。したがって、これらの港湾の相互協力は、今後とも、港湾の発展のみならず、国家間の共存共栄の礎であることを、我々はこの会議で確認した。

## 多くの文化・経済・人々の交流の拠点となる港湾

これまで主に欧米で発展を遂げてきたクルーズ産業が、いまやアジア市場に進出し、アジアの港をターンアラウンドポートとするクルーズ戦略を展開している。我々は、クルーズ客船の寄港は、その港湾や背後地に大きな経済効果をもたらすだけでなく、乗船客と現地の人々との交流を促進することから、新たな国際間の相互理解に大いに貢献するものであることを確認した。

そのうえで、我々は、複数の港湾が船社とともに、顧客満足度の向上を目指し、港湾を通じた今後の人流の一層の促進を図っていくことの重要性を確認した。

## 環境分野の技術革新に向けて前進する港湾

港湾は、多様な主体が活動する臨海部の空間に立地している。我々は、港湾における環境分野の先進的な取り組みの推進により、地域社会の環境保全に貢献し、地球温暖化への対応や循環型社会の形成など、広域的かつ国際的な視点で取り組みが求められる環境問題の解決に貢献する必要性を確認した。

## 港湾都市の持続的発展を担う臨港地区の保全・再開発

港湾都市の持続的発展のためには、市民生活と産業・経済活動の調和を考慮しつつ、臨港地区の保全・再開発を継続的に実践することが必要である。その地域の特色ある立地環境や歴史・文化資源を活かすとともに、新たな都市機能の導入、観光・集客振興に取り組むことも重要である。我々は、こうした分野の先進的事例の情報を共有するためにも、継続的に意見交換を図っていくことが必要であることを確認した。

## 交流を促進し新しい価値を生み出す

グローバル化社会における港湾のより良い未来のために、我々は、この会議で確認したことを、さらに発展させていく必要がある。そのために、我々は、物流・人流の促進や環境負荷の低減に貢献できる、幅広い視点で港湾の未来を拓いていく若い人材の育成について協力して取り組んでいくことを、開港150年を迎えた、この神戸の地で宣言する。

Lt. Sutthinan Hatthawong, R.T.N.  
Director General  
Port Authority of Thailand

Rear Admiral Md Khaled Iqbal  
Chairman  
Chittagong Port Authority

H.D.A Sarakumara Premachandra  
Managing Director  
Sri Lanka Ports Authority

Truong Van Thai  
Deputy General Director  
Port of Hai Phong JSC

Daniel Jahn  
Visitors Service Executive  
Hamburg Port Authority

Yoon Sangyoung  
Director  
Incheon Port Authority

Kim Chang Sun  
Director General  
Jeju Special Self-Governing province

Jay Daniel Rodriguez Santiago  
General Manager  
Philippine Ports Authority

Monica Michel-Bonvalet  
Commercial Director  
Marseille Fos Port Authority

Manoharan Cheri Kannan  
Head of Swettenham Pier Cruise Terminal  
Penang Port Sdn. Bhd.

Arënso Pieter Bakker  
Partner Stig  
Stig A

Huynh Van Cuong  
Chairman-Board of Directors  
Saigon Port Joint Stock Company

Michael George McLaughlin  
Director  
Port of Seattle

Huang Xin  
Vice President  
Shanghai International Port (Group) Co., Ltd.

Lou Kim Chhun  
Chairman & Chief Executive Officer  
Sihanoukville Autonomous Port

Albert Wong  
Vice - President  
Singapore Cruise Centre Pte., Ltd.

Tan Cheng Peng  
Director (Port Policy)  
Maritime and Port Authority of Singapore

Rani C. Cruz  
Deputy Administrator for Port Operation  
Subic Bay Metropolitan Authority

Kuo Tien-Kuei  
President  
Taiwan International Ports Corporation, Ltd

Orias Petrus Moedak  
CEO  
Pelindo III

Rima Novianti  
Director  
Port of Tanjung Priok

Lu Wei  
President  
Tianjin Port (Group) Co., Ltd.

Thet Tun  
General Manager  
Myanmar Port Authority

Makoto Yoshii  
Director General  
Port & Urban Projects Bureau, City of Kobe

Nobuo Akai  
Professor  
Osaka University

Tatsuhiko Ikeda  
Professor Emeritus  
Yokohama National University

Dato' Capt. David Padman  
Chairman,  
Sealand Marine Group of Companies

Chusaku Yasuda  
Professor Emeritus  
Kobe University

Katsuhiko Kuroda  
Professor Emeritus  
Kobe University

Kizo Hisamoto  
Mayor  
City of Kobe